



取扱説明書/ User's Manual

交換バッテリーモジュール

Replaced Battery Module

Model:

9128RBM-1000C

9128RBM-1000R

9128RBM-1500R

9128RBM-3000R

安全にお使いいただくために

1 安全上のご注意

本装置および本書には、お客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にご使用いただくために、守っていただきたい事項を示しています。ご使用前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、必要なときにすぐ参照できるよう、お手元に保管してください。

● 安全上の注意事項の表示と意味

本書では、安全上の注意事項のランクを「危険」、「注意」として区別してあります。

	危険	取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合
	注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみ発生が想定される場合

尚、注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

● 図記号の意味

下7記号は危険事項を示しています。
◇の中に具体的な危険内容（左7場合は一般的な危険）が描かれています。

	一般的な危険		感電のおそれあり		火災のおそれあり
---	--------	---	----------	--	----------

下7記号は注意を促す事項を示しています。
△の中に具体的な注意内容（左7場合は一般的な注意事項）が描かれています。

	一般的な注意		感電に関する注意		ファンに関する注意
---	--------	---	----------	--	-----------

下7記号は禁止（してはいけないこと）を促す事項を示しています。
⊘の中に具体的な禁止内容（左7場合は一般的な禁止事項）が描かれています。

	一般的な禁止事項		分解の禁止		火気の使用禁止
---	----------	---	-------	--	---------

下7記号は強制（必ずしなければならないこと）を促す事項を示しています。
●の中に具体的な指示内容（左7場合は一般的な強制項目）が描かれています。

	一般的な強制事項		接地に関する事項		接続コードに関する事項
---	----------	---	----------	--	-------------

下7記号は注記を示しています。

	注記
---	----



このシンボルは、バッテリーをごみとして捨てず、リサイクルすることを示します。この製品は、シール鉛蓄電池を搭載していますので、適切にこれを処分しなければなりません。詳しくは、お求めの販売店にご連絡ください。

2 使用上のご注意

取扱上の注意事項

 危険	
 	<ul style="list-style-type: none"> 引火性のあるガスや発火性の物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。 本装置のバッテリーを火の中に入れてください。爆発したり、破裂したりする危険があります。
 	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーを交換しないまま長時間使用した場合、バッテリー容器の劣化により液もれすることがあります。もれた液には硫酸が混ざっていますので、発煙や火災の原因となります。また、もれた液が皮膚に付着したり、目に入った場合、やけどをおこしたり失明することもあります。万一、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で洗浄して、医師に相談してください。 有機溶剤や合成洗剤でバッテリーを拭かないでください。バッテリーケース割れによる液漏れの原因になる可能性があります。 UPS 機器に合った専用のバッテリー以外のバッテリーを使用しないでください。破損、火災につながる可能性があります。 適合する UPS 以外の機器で充電しないでください。バッテリーの火災、破裂の可能性があります。
 	<ul style="list-style-type: none"> 本装置或いは UPS の分解・修理・改造・短絡などしないでください。分解・修理・改造などすると正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となることがあります。

 注意	
 	<ul style="list-style-type: none"> 濡れた手でバッテリー交換をしないでください。感電することがあります。 塩分や腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。内部の部品がショートや劣化して感電や火災の原因となります。 バッテリー交換の際、バッテリー収容口に手を入れないでください。感電、ショートの危険があります。金属物を中に差し込まないでください。 金属類は、作業前に必ず外して下さい。感電ややけどの可能性がります。
	<ul style="list-style-type: none"> 安全な交換作業を行うて頂くためには、電気作業の経験・知識のある方がバッテリー交換作業を実施してください。バッテリー交換作業にあたっては事前に本書を熟読して頂き、安全上の注意事項をご理解した上で、作業を開始してください。その他の方法で交換した場合、感電や故障の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 本装置は重量物です。持ち運ぶ時は、しっかりと持って運んでください。無理に持ち運ぶと腰を痛めたり、落してけがをすることがあります。2人以上で作業してください。また、手袋、安全靴等を着用し、注意して作業してください。けが、感電などのおそれがあります。 バッテリーの上部に花瓶などの水の入った容器を置かないでください。転倒の場合、感電、火災の原因になることがあります。 本装置の上に乗ったり、物を載せないでください。倒れたり、落ちたり、壊れたりしてけがをすることがあります。 交換作業を不安定な場所で行わないでください。本装置が倒れ、けがをすることがあります。 バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。お求めの販売店にご連絡ください。

3 メンテナンスに関する注意事項

ホットスワップについて

本装置は、ホットスワップ（負荷装置に給電しながらのバッテリー交換可能なバッテリー交換機構）により、UPSの電源を落とすことなく、あるいは負荷装置を停止することなく、容易にUPSのバッテリーを交換することが出来ます。ホットスワップを行うときに、バッテリーを取り外している状態で停電などの入力電源異常が発生した場合は、UPSはバックアップできませんので、負荷装置が停止してしまいます。重要度が高い負荷装置のバッテリー交換は、ホットスワップでなく、通常の、負荷装置を停止してからのバッテリー交換を行ってください。

負荷装置の安全な停止

ホットスワップ可能な本装置でも、バッテリー交換では、負荷装置を停止（コンピュータの場合、シャットダウン）する作業を推奨致します。UPS に接続されていると気づかない負荷装置があった場合、UPS を停止したときにその負荷装置も給電が停止してしまいます。また、スイッチを切っても少ない電流を流し続ける負荷装置もあります。そのため、UPS の出力に接続されているコンセントプラグを全て外すことで負荷装置の停止を確実にしてください。

ユーザ交換による保証除外

ユーザーによりバッテリー交換を実施された UPS で、交換作業の不備が原因となって発生した UPS の故障や、負荷装置への給電停止については、弊社は責任を負いかねます。

バッテリーのリサイクル



バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。お求めの販売店にご連絡ください。

安全な交換作業を行って頂くためには、電気作業の経験・知識のある方がバッテリー交換作業を実施してください。バッテリー交換作業にあたっては事前に本書を熟読して頂き、安全上の注意事項をご理解した上で、作業を開始してください。

4 その他の注意事項

本装置の譲渡または売却時の注意について

本装置を第三者に譲渡または売却する場合は、本装置に添付されている全てのものを譲渡または売却してください。

本装置の保証について

本ユーザーズ・ガイドには「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間内に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、販売店にご相談ください。詳しくは、保証書をご覧ください。販売店による所定事項の記入がない場合、保証期間にかかわらず有償にて修理または交換となります。

第1章 バッテリー交換.....	1
1-1 内蔵バッテリーを交換する.....	1
1-2 新しいバッテリーをテストする.....	3
1-3 使用済みバッテリーをリサイクルする.....	3
第2章 保証書とアフターサービス.....	4
2-1 保証書.....	4
2-2 アフターサービス.....	4

第1章

バッテリー交換

1-1 内蔵バッテリーを交換する



注意

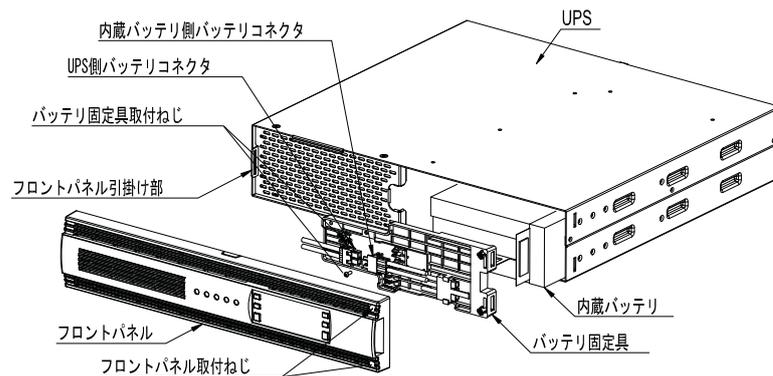
- 交換作業は、電気作業の経験・知識のある方が行ってください。以下の手順以外の方法で行う場合、故障、感電のおそれがあります。
- 交換をご依頼の場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

内蔵バッテリーの交換は、以下の手順で行ってください。

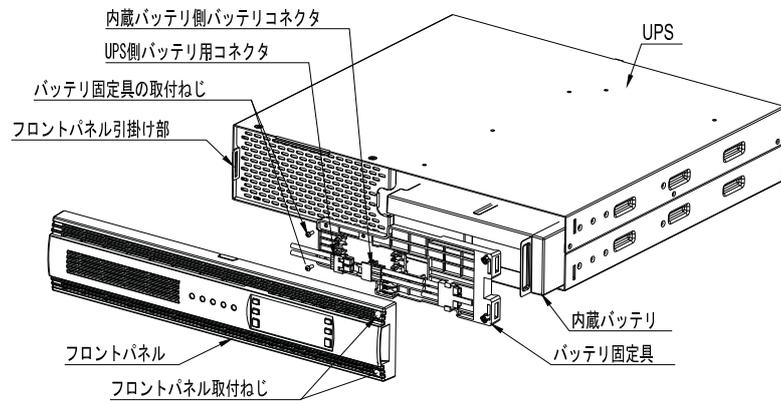
1. 内蔵バッテリー交換は、バッテリー運転以外の動作モードで行ってください。
2. フロントパネルを外してください。
3. バッテリーコネクタ同士を外してください。
4. バッテリー前面の固定具のネジをとり、固定具を取り外してください。
5. 内蔵バッテリーを取り外し、新しいバッテリーを挿入してください。
6. バッテリー固定具をUPSに取り付けてください。
7. バッテリーコネクタ同士を赤ー赤、黒ー黒を接続してください。
8. フロントパネルを装着してください。
9. UPSのONボタンを押してUPSがオンライン運転になり、BATTERY LEDが消灯していることを確認してください。

Rack&Tower タイプ

1kVA



1.1kVA/1.5kVA



3kVA

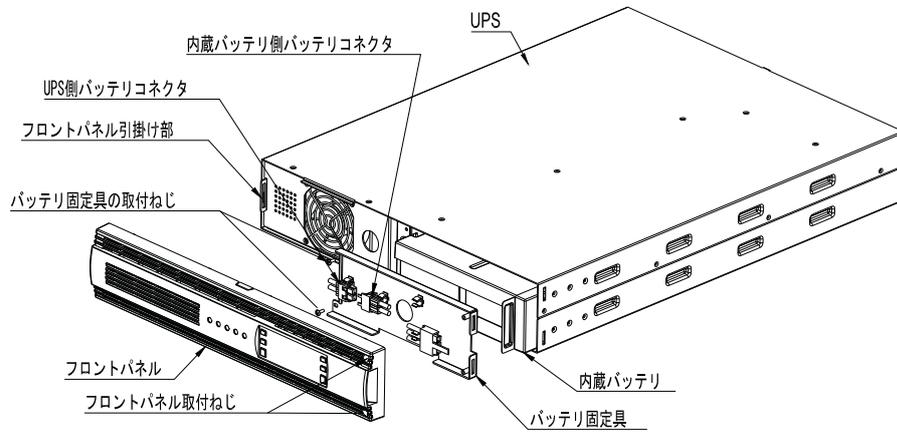


図 1-1 ラック&タワータイプ内蔵バッテリー交換

Tower タイプ

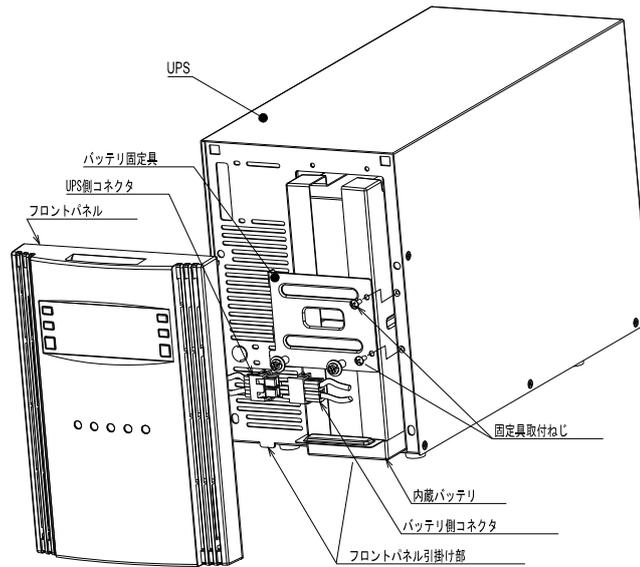


図 1-2 タワータイプ内蔵バッテリー交換



-
- バッテリーケーブルを差し込む際は、確実に差し込んでください。差し込みがゆるいと故障の原因になります。
 - バッテリーを外した状態で UPS を放置しないでください。
 - バッテリーは重量物です。挿入する際はご注意ください。
-

1-2 新しいバッテリーをテストする

UPS のバッテリー交換をした時は、バッテリーテストを行ってください。テスト実行後に UPS の BATTERY LED が 2 秒点滅する場合は、バッテリーの接続をチェックしてください。問題が続くようでしたら、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。

1-3 使用済みバッテリーをリサイクルする

使用済みバッテリーの正しい廃棄方法については、「安全にお使いいただくために 3-メンテナンスに関する注意事項」をよく読み、お買い上げいただいた販売店にお問い合わせください。弊社にて交換済みバッテリーを下取りを希望される場合には、必ず新品バッテリーが入っていた梱包箱を使用し、運送伝票の品名欄に「使用済みバッテリー」と記入の上、巻末の使用済みバッテリー送り先まで送付ください。



注 意

- バッテリーは「廃棄物の処理および清掃に関する法律」において、「特別管理産業廃棄物」に指定されていますので、むやみにバッテリーを廃棄することはできません。保守員 もしくは販売店にご連絡ください。
-

第2章

保証書とアフターサービス

2-1 保証書

このユーザズ・ガイドには保証書が添付されています。保証書の内容と所定事項が記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。
保証期間はご購入日より6か月です。

2-2 アフターサービス

アフターサービスについてのお問い合わせは、ご購入の販売店にご連絡ください。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づき、修理または交換させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。販売店にご連絡されるときは、次のことをお知らせください。

①型式	: 保証書に記載
②機番	: 保証書に記載
③お買上日	: 保証書に記載
④故障の状態	: できるだけ詳しく

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理させていただきます。

【使用済みバッテリー送り先】

〒300-0396

茨城県稲敷郡阿見町香澄の里36-1

アルプス物流ファシリティーズ株式会社 宛

TEL:029-889-2188

商品の最新情報および最寄りの営業拠点情報をホームページにてご提供しています。

http://www.fujielectric.co.jp/products/power_supply

保証書

お上 買い 日	(西暦) 年 月 日	型式	
		機番	
保証期間 6ヶ月			
お 客 様	〒()	様 お電話 ()	
	住所		
お 買 上 げ 店	お 名 前	電話	
	住所・店名		
		(印)	

保証規定

本製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。お客様の正常なご使用状態のもとで万一故障した場合は、本保証規定に従い故障箇所の修理または良品と交換させていただきますので、弊社にお申し出ください。

なお、保証期間内においても次の場合には有償修理となります。

1. 本保証書のご提示がない場合。
2. 本保証書にお買い上げ販売店の記名および押印がなされていない場合。
3. 本保証書の所定事項に未記入の箇所がある場合。
4. 本保証書をお買い上げ販売店了承を得ることなく訂正した場合。
5. お客様による輸送・移動時の落下、衝撃等、お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障・損傷の場合。
6. 火災・地震・水害等の天災地変による故障・損傷の場合。
7. ご使用上の誤りあるいは当社にご相談なく、修理・調整・改造した場合。
8. 本保証書は本製品が国内で使用される場合に限り有効です。

※本保証書は再発行致しませんので大切に保存してください。

富士電機株式会社

東京都品川区大崎1丁目11番2号ゲートシティ大崎イースタワー
(URL) http://www.fujielectric.co.jp/products/power_supply
(問合せ先) 0120-298-277

＜切り取り線＞